

男女共同参画に関する市民アンケート

資料4

令和3年12月
山陽小野田市

アンケートご協力をお願い

市では、男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画し、共に責任を分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現を目指すため、「さんようおのだ男女共同参画プラン」を策定し、様々な施策に取り組んでいるところです。

さて、このたび、男女共同参画に関する意識や実態をお聞きし、今後の施策へ反映するため、標記アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの20歳以上69歳以下の方の中から、無作為に1,000人を抽出させていただき、お願いするものです。

ご回答は、無記名とし、計画策定の基礎資料にのみ活用させていただきます。また、ご回答いただいた集計結果は、ホームページ等で公開させていただきます。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ ご記入にあたってのお願い ◆

1. 調査の対象となる方は、調査票を郵送させていただいた宛名の方になります。
必ず、ご本人がお答えくださいますようお願いいたします。
2. 回答は、「1つだけ」、「いくつでも」などの指示に従い、別紙回答欄に数字を記入し、回答が「その他」の場合はさらに具体的内容を記入してください。
3. 記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月24日(金)まで**に投函してください。
4. インターネットからの回答も可能です。下記URLまたは、QRコードからアクセスして回答してください。

https://s-kantan.jp/sanyo-onoda-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=1214



5. この調査についてご不明な点やご質問がありましたら、以下にお問い合わせください。

山陽小野田市 市民部
市民活動推進課 人権・男女共同参画室
電話 0836-82-1137

すべての方におたずねします。

1. あなた(回答者)自身のことについて

F1 あなたの性別は？《別紙の回答票に数字を記入してください。(以下全ての質問も同様)》

1. 男性 2. 女性 3. その他

F2 あなたの年齢は？

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
5. 60代

F3 あなたの世帯構成は、次のうちのどれにあたりますか。

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 一世代世帯（夫婦だけ）
3. 二世帯世帯（親と子） 4. 三世帯世帯（親と子と孫）
5. その他の世帯（ ）

F4 あなたの就業形態は次のうちのどれになりますか。

1. 正社員・正規の職員 2. パート・アルバイト
3. 派遣社員・契約社員・嘱託 4. 自営業主
5. 家族従業者 6. 無職（主婦、主夫、学生を含む）
7. その他（ ）

F5 あなたは結婚していらっしゃいますか。

1. 結婚している 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている
3. 離別または死別 4. 未婚

F6 あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。（別居、独立したお子さんも含む）

1. いる 2. いない

2. 男女平等意識について

問1 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを「ア」から「ク」の分野ごとに1つずつお答えください。

分野 \ 回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
ア 家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
イ 就職の機会や職場の中で	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
エ 地域活動の中で	1	2	3	4	5	6
オ 政治経済活動の中で	1	2	3	4	5	6
カ 法律や制度の面で	1	2	3	4	5	6
キ 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
ク 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問2-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたのご意見を次の中から1つだけお答えください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない ➡ 問3-1へ

問2-2へ

問2-3へ

問2-2 問2-1で「1」または「2」と回答した方に伺います。その理由を次の中からいくつでもあげてください。

1. 日本の伝統的は家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

問2-3 問2-1で「3」または「4」と回答した方に伺います。その理由を次の中からいくつでもあげてください。

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 妻が働いて能力を發揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないから
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

3. 仕事と家庭生活等の両立について

生活の中での、「仕事」、「家庭生活（家事・育児・介護等）」、「個人の生活（学習・趣味・付き合い等）」、「自治会や地区等の地域活動」の優先度についてお伺いします。

問3-1 まず、あなたの希望に近いものを次の中からいくつでもあげてください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「個人の生活」を優先したい
4. 「地域活動」を優先したい
5. わからない

問3-2 それでは、あなたの現実（現状）に近いものを次の中からいくつでもあげてください。

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「個人の生活」を優先している
4. 「地域活動」を優先している
5. わからない

問4 あなたは、この1年間に、次に掲げるような地域活動に参加したことがありますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 自治会や地区の地域活動
2. 保育園・幼稚園の保護者会、学校のPTA活動
3. 子ども会や青少年スポーツチームなどの活動や世話
4. 趣味やスポーツ、文化などの活動
5. 環境問題・消費者問題やリサイクルなどの市民活動
6. 高齢者や障がいのある人の介護などのボランティア活動・福祉活動
7. 消防団等の自主防災活動
8. 国際交流活動
9. その他（具体的に： _____)
10. 参加していない

パートナー(配偶者)と同居している方におたずねします。

問5 あなたの家庭において、収入を得ることや家事、子育て、介護・看護、地域活動への参加など、あなたとパートナー（配偶者）のどちらが分担していますか。各項目につき1つずつお答えください。

	自分を中心	どちらかといえば自分を中心	自分とパートナー同程度	どちらかといえばパートナーが中心	パートナーが中心	それ以外の家族	誰もしていない
①収入を得ること	1	2	3	4	5	6	7
②掃除・洗濯	1	2	3	4	5	6	7
③食事のしたく	1	2	3	4	5	6	7
④食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6	7
⑤子育て	1	2	3	4	5	6	7
⑥学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	7
⑦介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
⑧日常の買い物	1	2	3	4	5	6	7
⑨自治会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	6	7

現在仕事をしている方、または最近まで仕事をしていた方におたずねします。

問6 新型コロナウイルス感染拡大によって、あなたの労働状況で変わったことはありますか。次の中からあてはまるものをいくつでもあげてください。

1. テレワーク（在宅勤務）が増えた
2. フレックスタイム（時差勤務）が増えた
3. 残業時間が増えた
4. 残業時間が減った
5. 勤務時間が短縮された
6. 給料が減った
7. 失業した
8. その他（具体的に： _____)
9. 変わらない

問7から問9-2までは、現在仕事をしている方におたずねします。
現在仕事をしていない方は問10-1(5ページ)へお進みください。

問7 あなたは、仕事と仕事以外の生活の両立について、不安や悩みがありますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 自分の自由な時間がとれない
2. 子育てのための十分な時間がとれない
3. 介護・看護のための十分な時間がとれない
4. 家族との団らんのための十分な時間がとれない
5. 地域活動のための十分な時間がとれない
6. 仕事のための十分な時間がとれない
7. 自営等のため仕事と家庭生活の境目がはっきりしない
8. 休日が少ない、又は休暇制度があってもとれない
9. 健康管理が難しい
10. 相談者や協力者が、自分の周囲にいない
11. その他（具体的に： _____)
12. 特にない

問8-1 次の①～⑥の制度がありますか。また、利用したことがありますか。それぞれの項目に対しあてはまるものを1つだけお答えください。

	制度があり 利用したことが ある	制度はあるが 利用したことが ない	制度がない	わからない
①育児休暇	1	2	3	4
②介護休暇	1	2	3	4
③時短勤務制度	1	2	3	4
④フレックスタイム（時差勤務）	1	2	3	4
⑤テレワーク（在宅勤務）	1	2	3	4
⑥副業・兼業制度	1	2	3	4

問8-2 問8-1で「2. 制度はあるが利用したことがない」を1つでも選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 制度を利用する必要がなかったから
2. 手続きが多く利用しづらかったから
3. 同僚への仕事の負担が多くなってしまうと思ったから
4. 雇用主や上司の理解が得にくく、利用しにくい環境だったから
5. 今までの仕事のやり方が良いと思ったから
6. 収入が減ったり、無くなってしまうと困るから
7. その他（具体的に： _____)

問9-1 あなたは管理職（課長相当職以上）への昇格を希望していますか。次の中から1つだけお答えください。

1. 希望する
2. 希望しない ➡ 問9-2へ
3. 現在管理職である
4. わからない

問9-2 問9-1で「2. 希望しない」を選んだ方に伺います。希望しない理由を次の中からいくつでもあげてください。

1. 仕事と家庭の両立が困難だから
2. 趣味などの自分の時間を大切にしたいから
3. 課長の仕事に魅力を感じないから
4. 自分の能力に自信がないから
5. 現在の職場で長く働き続けるつもりがないから
6. その他（具体的に： _____)

ここからは再びすべての方におたずねします。

4. 女性の就労・活躍について

問10-1 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つだけお答えください。

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
6. その他（具体的に： _____)
7. わからない → 問11へ

問10-2へ

問10-2 問10-1で「1」～「6」を選択したのはなぜですか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 女性は家庭を守るべきだと思うから
2. 子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから
3. 保育料などを払うより母親が家で子どもの面倒を見た方が合理的だと思うから
4. 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから
5. 働き続けるのは大変そうだと思うから
6. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから
7. 女性も経済力を持った方がいいと思うから
8. 女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから
9. 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がいいと思うから
10. その他（具体的に： _____)
11. わからない

問11 あなたは、働く意欲のある女性が就職したり、働き続けたりするためには、家族や社会等でのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 夫の積極的な家事・育児・介護への参加
2. 夫以外の家族・地域による家事・育児・介護への参加
3. 保育施設等の育児サービスの充実
4. 福祉施設等の介護サービスの充実
5. 在宅勤務やフレックスタイム（時差出勤）の普及
6. 育児・看護・介護のための休暇を取りやすい環境整備
7. 能力開発や技術習得のための研修会実施
8. 総合的な相談窓口が整備、充実していること
9. その他（具体的に： _____)
10. わからない

問12 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間作りをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
11. その他（具体的に： _____）
12. わからない

5. 男女間における暴力について

問13-1 あなたは、この5年間に配偶者や交際相手などから次の「ア」～「エ」に示す暴力を受けたことがありますか。次の中から項目ごとに1つずつお答えください。

項目	回答	何度もあった	1、2度あった	まったくない
ア 身体的暴行（身体的な暴力） ・ なぐる・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける		1	2	3
イ 心理的攻撃（精神的な暴力） ・ 大声でどなる ・ 何を言っても無視して口をきかない ・ 交友関係を制限する 等		1	2	3
ウ 経済的圧迫（経済的な暴力） ・ 生活費を渡さない ・ 勝手に借金を作り、返済を強制する 等		1	2	3
エ 性的強要（性的な暴力） ・ いやがっているのに性行為を強要する ・ 避妊に協力しない 等		1	2	3

※ いずれかの項目に「1」または「2」と答えた方 ➡ 問13-2へ
すべて「3」と答えた方 ➡ 問14-1へ

問13-2 問13-1のいずれかの項目で「1」または「2」と答えた方にお伺いします。これまでに暴力について誰かに打ち明けたり、相談したりしたことはありますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 友人・知人に相談した
2. 家族や親戚に相談した
3. 警察に連絡・相談した
4. 市役所相談窓口に相談した
5. 法務局（人権擁護委員）に相談した
6. 民生児童委員に相談した
7. 民間の機関（弁護士・民間シェルターなど）に相談した
8. 医師・カウンセラーに相談した
9. その他（具体的に： _____）
10. どこ（だれ）にも相談しなかった ➡ 問13-3へ

問14-1へ

問13-3 問13-2で「10. どこ（だれ）にも相談しなかった」方にお伺いします。どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。次の中からいくつでもあげてください。

1. どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談してもむだだと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
5. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
6. 世間体が悪いから
7. 他人を巻きこみたくなかったから
8. 自分にも悪いところがあると思ったから
9. 相談するほどのことではないと思ったから
10. その他（具体的に： _____）

問14-1 過去1年以内に、あなたの身近なところ（職場・学校・地域活動など）でセクシャルハラスメント（相手の意に反する性的な言動）を経験したり、見聞きしたりしたことはありますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 「男のくせに」「女のくせに」などと差別的な言い方をされる
2. 結婚や出産など、プライベートなことを過度に詮索される
3. 性的な話や冗談、質問を言われたり、聞かれたりした
4. 携帯電話やパソコンのメール、SNS等でしつこく誘われた
5. 不必要に体をさわられた
6. 性的な関係を強要された
7. その他（具体的に： _____）
8. ない → 問15へ

問14-2へ

問14-2 問14-1で「1」～「7」に○をされた方に伺います。そのセクシュアル・ハラスメントはどこで行われましたか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 職場で
2. 学校で
3. 地域活動で
4. その他（具体的に： _____）

問15 配偶者や交際相手などからの暴力、性暴力、セクシュアル・ハラスメント、ストーカーなどを防止するためには、どのような対策が必要だと思いますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 被害者が早期相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
2. 加害者への罰則を強化する
3. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
4. 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
5. 被害者救済のための法整備
6. シェルター（一時的な避難所）の整備、助成を行う
7. 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 暴力を助長する恐れのある情報（雑誌、ゲームソフトなど）を取り締まる
9. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
10. 被害者を発見しやすい立場の警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
11. 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
12. その他（具体的に： _____）
13. わからない

6. 性の多様性について

問16 あなたは、LGBT等（※）の性的少数者に対する理解の促進や支援にはどのようなものが必要であると思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでもあげてください。

1. 児童・生徒への学校における教育の充実
2. トイレや更衣室などの環境の整備
3. 啓発や広報活動の推進
4. 専門相談窓口の充実
5. パートナーシップ宣誓制度（※）の導入
6. 法律や条例等に性的少数者への偏見や差別解消への取り組みを明記する
7. 職場における研修の実施、理解の促進
8. その他（具体的に： _____)
9. 必要だと思わない
10. わからない

※LGBTは、レズビアン（Lesbian:同性を恋愛や性愛の対象とする女性）、ゲイ（Gay:同性を恋愛や性愛の対象とする男性）、バイセクシュアル（Bisexual:同性も異性も恋愛や性愛の対象とする人）、トランスジェンダー（Transgender:出生時の戸籍上の性とは異なる性自認を有する人）の頭文字を取って組み合わせた言葉です。LGBT以外にもさまざまな性のあり方が存在します。

※パートナーシップ宣誓制度は、一定の要件の下で、一方または双方が性的少数者であるお二人が互いを人生のパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを約束した関係である旨の宣誓書を地方自治体に提出すると、受領証が交付され、現行では法律婚の夫婦にしか認められていない手続きやサービス等で、提供可能なものについては適用範囲が拡大されていくものです。法律上の効果が生じるものではありません。

7. 男女共同参画社会に関する行政への要望について

「男女共同参画社会」とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

問17 あなたは、あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、現在、男女共同参画社会は達成できたと思いますか。次の中から1つだけお答えください。

1. かなり達成できた
2. ある程度達成できた
3. あまり達成できていない
4. ほとんど達成できていない
5. わからない

問18 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、山陽小野田市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまであげてください。

1. 男女平等意識を育てるための学校教育を充実させる
2. 男女平等意識を育てるための生涯教育を充実させる
3. 男性の家事・育児・介護への積極的参加を進めるための市民啓発を行う
4. DVの相談窓口を充実させ、DV防止と被害者の支援を積極的に行う
5. 行政職員や審議会委員など政策決定の場に女性を積極的に登用する
6. 企業・団体等へ女性の役員や管理職が増えるように働きかける
7. 企業・団体等に対しワーク・ライフ・バランスや働き方改革を働きかける
8. 育児のサービスや保育施設を充実させる
9. 高齢者や障がい者のための施設や介護サービスの充実を図る
10. 女性の就職・再就職機会の支援をする
11. 地域や防災分野の女性リーダーを養成する
12. 市広報やパンフレット等による啓発をはかる
13. 生理用品の無料配布など生理の貧困に対する支援をする
14. LGBTなど性的少数者への理解を深める啓発や、支援をする
15. その他（具体的に： _____)
16. 特にない
17. わからない

問19 男女共同参画社会の実現のために、ご意見・ご要望がありましたら、回答票にご自由にお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、回答票を返信用封筒に入れ、投函してください。

回答票(男女共同参画に関する市民アンケート)

記入不要 (事務処理)	No.	
----------------	-----	--

1. あなた(回答者)自身のことについて

F1		F2		F3		(その他)
----	--	----	--	----	--	-------

F4		(その他)	F5		F6	
----	--	-------	----	--	----	--

2. 男女平等意識について

問1	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

問2-1		(その他)
------	--	-------

⇒問2-1で1または2を選んだ方

問2-2						(その他)
------	--	--	--	--	--	-------

⇒問2-1で3または4を選んだ方

問2-3						(その他)
------	--	--	--	--	--	-------

3. 仕事と家庭生活等の両立について

問3-1					問3-2				
------	--	--	--	--	------	--	--	--	--

問4								(その他)
----	--	--	--	--	--	--	--	-------

問5はパートナー(配偶者)と同居している方におたずねします。

問5	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

問6は、現在仕事をしている方、または最近まで仕事をしていた方におたずねします。

問6								(その他)
----	--	--	--	--	--	--	--	-------

問7から問9-2までは、現在仕事をしている方におたずねします。

問7									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問7(その他)	
---------	--

問8-1	①	②	③	④	⑤	⑥

⇒問8-1で①～⑥中に2を答えとして1つでも選んだ方

問8-2						(その他)
------	--	--	--	--	--	-------

問9-1	
------	--

⇒問9-1で2を選んだ方

問9-2										(その他)
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------

ここからは再びすべての方におたずねします。

4. 女性の就労・活躍について

問10-1		(その他)
-------	--	-------

⇒問10-1で1～6を選んだ方

問10-2										
(その他)										

問11											(その他)
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------

問12										
(その他)										

5. 男女間における暴力について

問13-1	ア	イ	ウ	エ

⇒問13-1でア～エの中で1または2を1つでも選んだ方

問13-2										
(その他)										

⇒問13-2で10を選んだ方

問13-3										
(その他)										

問14-1										(その他)
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------

⇒問14-1で1～7を選んだ方

問14-2										(その他)
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------

問15												
(その他)												

6. 性の多様性について

問16									
(その他)									

7. 男女共同参画社会に関する行政への要望について

問17	
-----	--

問18			(その他)
-----	--	--	-------

問19	